

主務課：観測部観測課		関係部課：総務部、予報部、地震火山部、気候・海洋気象部		
業績指標名 気象統計情報の充実 (改善または新規作成の気象統計情報の数)		単位 統計情報 の数	現況値(時点) 2 (平成12年度)	目標値(年次) 8 (平成18年度)
アウトカム目標達成に共通する施策等 気象統計情報の充実(観測・予報業務の改善に共通する基盤情報の充実)				
<p>業績指標の解説</p> <p>「気象統計情報の充実」とは、気象庁が保有する気象観測データ等(全国約150地点の気象台・測候所の気象観測データ、全国約1,300地点のアメダスデータ等)から作成した統計情報で、インターネット等を通して国民等が広く利用できる気象統計情報の数(平成10年度以降の累積数)をいう。気象統計情報は、気候変動などの学術分野での利用のほか、防災計画、各産業分野における事業計画や工程管理、リスク軽減などのための基礎資料として利用され、今後も幅広く利用される可能性を有している。このため、今後、これらの分野における新たなニーズにも対応した基盤的な統計情報の整備を進めることにより、気象データの利用の促進を図る。</p>				
<p>目標設定の考え方</p> <p>平成13年度に作成するメッシュ気候値(気温、降水量などの平年値(気候値)を1km四方ごとに算出したもの)のように、観測データを統計処理し、利用目的に応じてわかりやすく作成・提供するため、ニーズを踏まえ、各年度ごとに1つの統計情報の充実を目指す(充実する統計情報の名称とその具体的内容は、各年度ごとに確定する)。</p> <p>なお、平成10年度以降のこれまでの実績は以下の通り。</p> <p>平成10年度：気象災害の統計(1971年～1997年)</p> <p>平成12年度：平年値2000(統計期間：1971年～2000年)</p> <p>平成13年度：メッシュ気候値2000</p> <p>平成14年度：日本気候図2000(予定)</p>				
(参考)過去の実績値				(備考)
H 8	H 9	H 1 0	H 1 1	H 1 2
		1 (1)	1 (0)	2 (1)
				括弧内は当該年度に充実した統計情報の数